

報道機関各位

記者発表資料
 平成 23 年 4 月 7 日
 問い合わせ先：防災課
 担当：大成
 電話：829-1136

東日本大震災におけるさいたま市の状況について

1 地震の概要（気象庁）

- (1) 発生日時 平成 23 年 3 月 11 日 14 時 46 分頃
- (2) 震源及び規模（推定）
 三陸沖（北緯 38.0 度、東経 142.9 度、牡鹿半島の東南東 130 km 付近）
 深さ 約 20 km、マグニチュード 9.0
- (3) 各区の震度
 震度 5 強 見沼区、中央区、緑区
 震度 5 弱 西区、北区、大宮区、桜区、浦和区、南区、岩槻区

2 さいたま市対応

- (1) 時系列対応状況
- | | |
|------------------|---------------------|
| 3 月 11 日 14 : 46 | さいたま市災害対策本部設置 |
| 15 : 30 | 避難場所開放指示 |
| 15 : 40 | 各区災害対策本部設置指示 |
| 15 : 41 | 各学校へ避難場所設置指示（教育委員会） |
| 16 : 30 | 第 1 回本部員会議開催 |
| 17 : 30 | 見沼区停電の啓発無線放送 |
| 18 : 00 | 九都県市応援調整本部設置 |
| 18 : 30 | 第 2 回本部員会議開催 |
| 20 : 45 | さいたまスーパーアリーナ避難場所開設 |
| 21 : 00 | 第 3 回本部員会議開催 |
| 12 日 10 : 00 | 第 4 回本部員会議開催 |
| 14 : 00 | 第 5 回本部員会議開催 |
| 13 日 10 : 30 | 第 6 回本部員会議開催 |
| 23 : 00 | 第 7 回本部員会議開催 |
| 14 日 6 : 15 | 全避難場所閉所 |
| 15 日 14 : 00 | 第 8 回本部員会議開催 |
| 17 日 16 : 30 | 第 9 回本部員会議開催 |

20日11:00	第10回本部員会議開催
25日14:00	第11回本部員会議開催
29日16:00	第12回本部員会議開催
4月 4日10:00	第13回本部員会議開催

3 被害状況

(1) 消防対応

- ・救助要請 2件
- ・救急要請 29件(内搬送16件 死亡1名、中等症2名、軽症13名)
- ・火災 1件(鎮火済)

(2) ライフライン被害

- ・電力(3月12日 0時38分 仮復旧)
- 西区内の被害 2軒
- 北区内の被害 28軒
- 見沼区内の被害 8028軒
- 浦和区内の被害 1軒

計画停電による停電は含まれません

- ・水道管破損等受付件数 465件(うち、修繕件数260件、未処理件数0件)
受付件数に対し修繕件数と未処理件数の合計の差異は、通報が重複するもの。
- ・下水道水路被害 2件
- ・コミュニティバス 25日(金)より全ての路線で運行再開

(3) 建物、道路等被害

- ・建物被害(半壊) 10件
- ・ブロック塀倒壊 62件
- ・屋根崩れ 51件
- ・道路被害 159件
- ・電柱被害 30件
- ・新幹線高架下床板破損 1件
- ・橋梁被害 16件
- ・宅内漏水 7件

(4) 学校状況 (4月7日現在休校なし)

- ・市立小学校63校、中学校45校、高等学校4校に一部被害
うち栄小学校は校舎が一部損壊。

4. 復旧対策

災害復旧事業及び被災地支援等について、被害の状況等により事業費が確定しないものを除き、平成22年の規定予算(流用、予備費等)及び補正予算により、予算対応を行なった。

平成22年度予算

事業費 14億3,900万円(うち一般会計 13億3,500万円)

うち補正予算 4億6,100万円(うち一般会計 4億6,100万円)

事業の内訳

(1) 災害復旧事業(5億1,300万円)

(2) 被災地支援(4,700万円)

(3) 職員配備その他(8億7,800万円)

平成23年度3月補正予算

事業費 1億6,700万円(栄小学校仮設校舎賃借料)

5. 計画停電

さいたま市における停電実施日 6日間(3月6日現在)

3月

14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
回避	実施	実施	実施	実施	回避	回避	回避	実施	実施	回避	回避

4月

26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6
回避	回避	回避	回避	回避	回避	回避	回避	回避	回避	回避	回避

計画停電等問い合わせ対応従事職員 延べ 約350人

6. 災害支援

(1) 人的支援(職員延べ1,468名)

3月11日の地震発生日から緊急消防援助隊埼玉県隊にさいたま市隊派遣

指揮支援隊1隊5名を福島県相馬地方、福島市、相馬市に延べ6隊30名派遣

緊急消防援助隊埼玉県隊として岩手県陸前高田市に延べ188隊704名派遣

3月11日から31日まで、第1次派遣から第5次派遣(終了)

緊急消防援助隊埼玉県隊として福島県本宮市に延べ72隊222名派遣

3月26日から4月4日現在、第3次派遣実施中

3月12日から29日まで、栃木県那須町、福島県郡山市、栃木県矢板市で応急給水活動を実施、延べ給水車6台、18名派遣

3月14日から4月4日現在、岩手県宮古市に保健師2名と事務職員が延べ20名派遣

3月24日から4月4日現在、福島県へ下水道復旧支援に延べ8名派遣

(2) 物的支援 (詳細は別紙のとおり)

3月18日から24日まで市民2,794人から救援物資受入れ、仙台市に約40t物資輸送
仕分け作業等に市民ボランティアが828人参加

(3) その他支援

さいたまスーパーアリーナにおける支援 (職員延べ296名)

受付等運営補助職員 174名 (3月16日から31日まで16日間)

健康管理、こころのケア、食品衛生指導 52名

福祉相談 福祉職員16名 (3月19日から24日まで6日間)

社会福祉事業団職員28名 (3月19日から26日まで8日間) 他入浴サービス

保育相談等 保育職員33名、ボランティア、民生・児童委員113名

教育相談 職員21名 (3月19日から30日まで12日間)

片柳コミュニティセンターを一時避難所として3月20日から開設 (職員延べ169名)

4月5日現在、避難者50名受入れ

避難所運営 120名 (3月20日から4月6日まで18日間)

健康管理、衛生指導 41名

教育相談等 職員4名

住宅相談 職員2名

福祉相談 職員2名

市民ボランティア約430名登録、毎日30名程度活動

福島県南会津町 市民保養施設「ホテル南郷」 福島県からの要請により8名受入れ

義援金の募集 4月5日現在 5,056万円

平成23年東日本大震災に係るさいたま市の災害支援について

現在実施している災害支援(人的支援)

(平成23年4月6日17時現在)

局	派遣期間	派遣先	派遣内容	支援内容	派遣理由・要請	特記事項
保健福祉局	3月14日～4月末予定	岩手県宮古市(宮古保健所)	保健師2名、事務職職員1～2名の派遣	被災者の健康相談・健康チェック 避難所の衛生対策	厚生労働省からの要請	5泊程度で交代
子ども未来局	4月5日～11日	宮城県中央児童相談所	児童福祉司1名、児童心理司1名の派遣	情報収集や要保護児童の調査、子どもの心のケアや現場スタッフの支援	厚生労働省からの要請	
建設局	3月24日～	福島県	福島県へ下水道復旧支援のため、交代職員2名を支援隊として派遣。平成23年4月3日(日)午前8時00分出発。 なお、4月4日(月)第1次支援隊2名は引継ぎ後帰庁予定。	福島県庁にて下水道復旧支援に向け、アドバイザーとして支援する。	(社)日本下水道協会「下水道事業における災害支援に関するルール」に基づき、福島県から派遣要請	
消防局	3月11日～15日	福島県相馬地方	指揮支援隊の派遣 1隊5名	被災状況の把握と消防庁との連絡調整等の実施		緊急消防援助隊 一次派遣部隊
消防局	3月11日～15日	岩手県陸前高田市	埼玉県隊 44隊174名 (さいたま市 9隊34名)	救助等の広域応援活動の実施		緊急消防援助隊 一次派遣部隊
消防局	3月14日～19日	福島県福島市	指揮支援隊の派遣 1隊5名	被災状況の把握と消防庁との連絡調整等の実施		緊急消防援助隊 二次派遣部隊
消防局	3月14日～20日	岩手県陸前高田市	埼玉県隊 44隊171名 (さいたま市 9隊32名)	救助等の広域応援活動の実施		緊急消防援助隊 二次派遣部隊
消防局	3月18日～21日	福島県相馬市	指揮支援隊の派遣 1隊5名	被災状況の把握と消防庁との連絡調整等の実施		緊急消防援助隊 三次派遣部隊 (三次で終了)
消防局	3月19日～24日	岩手県陸前高田市	埼玉県隊 44隊159名 (さいたま市 8隊27名)	救助等の広域応援活動の実施		緊急消防援助隊 三次派遣部隊 (埼玉県隊部隊縮小)

局	派遣期間	派遣先	派遣内容	支援内容	派遣理由・要請	特記事項
消防局	3月23日～28日	岩手県陸前高田市	埼玉県隊 28隊100名 (さいたま市 8隊27名)	救助等の広域応援活動の実施		緊急消防援助隊 四次派遣部隊
消防局	3月27日～31日	岩手県陸前高田市	埼玉県隊 28隊100名 (さいたま市 8隊27名)	救助等の広域応援活動の実施		緊急消防援助隊 五次派遣部隊 (五次で終了)
消防局	3月26日～29日	福島県福島市	指揮支援隊の派遣 1隊5名	埼玉県隊、東京都隊、栃木県隊の指揮支援活動		緊急消防援助隊 一次派遣部隊
消防局	3月26日～29日	福島県本宮市	埼玉県隊 24隊74名 (さいたま市 1隊3名)	救急等の広域応援活動の実施		緊急消防援助隊 一次派遣部隊
消防局	3月29日～4月2日	福島県福島市	指揮支援隊の派遣 1隊5名	埼玉県隊、東京都隊、栃木県隊の指揮支援活動		緊急消防援助隊 二次派遣部隊
消防局	3月29日～4月2日	福島県本宮市	埼玉県隊 24隊74名 (さいたま市 1隊3名)	救急等の広域応援活動の実施		緊急消防援助隊 二次派遣部隊
消防局	4月2日～	福島県福島市	指揮支援隊の派遣 1隊5名	埼玉県隊、東京都隊、栃木県隊の指揮支援活動		緊急消防援助隊 三次派遣部隊
消防局	4月2日～	福島県本宮市	埼玉県隊 24隊74名 (さいたま市 1隊3名)	救急等の広域応援活動の実施		緊急消防援助隊 三次派遣部隊
消防局	4月6日～	福島県福島市	指揮支援隊の派遣 1隊5名	埼玉県隊、東京都隊、栃木県隊の指揮支援活動		緊急消防援助隊 四次派遣部隊
消防局	4月6日～	福島県本宮市	埼玉県隊 18隊55名 (さいたま市 4隊13名)	救急等の広域応援活動の実施		緊急消防援助隊 四次派遣部隊
水道局	3月12日～15日	栃木県那須町	給水車 2台 緊急車両 1台 職員 6名	応急給水活動を実施	日本水道協会関東支部からの要請	第2班で終了

局	派遣期間	派遣先	派遣内容	支援内容	派遣理由・要請	特記事項
水道局	3月13日～16日	福島県郡山市	給水車 2台 職員 6名	応急給水活動を実施	日本水道協会関東支部からの要請	
水道局	3月17日～29日	栃木県矢板市	給水車 2台 職員 6名	応急給水活動を実施	日本水道協会関東支部からの要請	3月29日で終了
水道局	3月23日～	宮城県石巻市	車両3台 職員6名	漏水調査活動	日本水道協会関東支部からの要請	
水道局	4月4日～	福島県いわき市	車両2台・職員5名 業者2班7名(車両7台)	水道管路復旧班	日本水道協会関東支部からの要請	

平成23年東日本大震災に係るさいたま市の災害支援について

現在実施している災害支援(物的支援)

(平成23年4月6日17時現在)

局	支援日	支援概要	支援内容	派遣理由・要請	特記事項
総務局	3月12日出発	災害救助物資の提供(仙台市)	毛布 3,000枚	20大都市災害時相互応援協定	経済局職員が物資輸送に同行
総務局	3月12日出発	災害救助物資の提供(水戸市)	毛布 2,000枚	首都圏県都相互応援協定	経済局職員が物資輸送に同行
総務局	3月12日出発	災害救助物資の提供(福島市)	アルファ米 10,000食 水 0.5L×2,000本	災害時相互応援協定	経済局職員が物資輸送に同行
総務局	3月16日出発	災害救助物資の提供(福島市)	アルファ米 10,000食 紙おむつ 48パック(3,096枚) 粉ミルク 10箱(80缶)	災害時相互応援協定	
総務局	3月16日出発	災害救助物資の提供(仙台市)	アルファ米 10,000食 カセットコンロ 20台 カセットコンロ用ボンベ 20セット 水 1.5L×1,777本 ドロップ 90缶	20大都市災害時相互応援協定 調整中	
総務局	3月23日出発	災害救助物資の提供(仙台市)	ベビー食品、紙おむつ、ティッシュ等	市民からの支援物資を提供	10tトラック1台分
環境局	3月23日出発	電気自動車の派遣、無料貸与(仙台市)	電気自動車3台	仙台市 電気自動車会議「E-KIZUNAサミット・フォーラム」参加自治体	環境局職員が搬送に同行
消防局	3月14日引渡し	消防車両の貸与(福島第一原発)	水槽付消防ポンプ自動車 1台 消防ポンプ自動車 1台	消防庁長官からの要請	東京電力の職員が当局より搬送
消防局	3月19日出発	消防用防火服等の提供(陸前高田市)	訓練用に保管していた旧市の防火服を中心に、31品目747点	陸前高田市消防本部からの要望	

平成23年東日本大震災に係るさいたま市の災害支援について

現在実施している災害支援(その他支援)

(平成23年4月6日17時現在)

局	支援期間	支援概要	支援内容	支援理由・要請	特記事項
市民・スポーツ文化局	3月19日(土) ～約1ヶ月の予定	福島県南会津町にある市民保養施設、ホテル南郷への福島県民の受け入れ	施設の収容人員81名まで被災者を受け入れる	福島県からの要請	4月5日(火) 7名受け入れ
市民・スポーツ文化局	3月20日(日)～31日(木)	片柳コミュニティセンターを一時避難所として開設し受け入れ	約300名まで被災者を受け入れる		4月5日(火) 50名受け入れ
保健福祉局	3月14日～9月30日	義援金の募集	各区役所総合案内に義援金箱を設置	日本赤十字社からの依頼により設置	日本赤十字社へ随時送金している。 (3月18日現在 5,596,873円)
保健福祉局	3月18日(金)	社会福祉施設等での要援護者の受入	特別養護老人ホームでの要介護者2名を受入	さいたまスーパーアリーナでの避難生活を継続することが困難なため	本市の受入調整により高齢者福祉施設への受入を行った初めてのケースである。
保健福祉局	3月18日(金)	被災地からの避難者が受診した際、医療機関の窓口における患者一部負担金支払猶予が円滑に行われるための通知をさいたまスーパーアリーナの救護所に2,000通届け、医療機関に受診する被災者への配布を行った。	支援概要に同じ	厚生労働省の通知による	
子ども未来局	3月19日～30日	スーパーアリーナ避難者向け総合相談窓口へ保育士を派遣。ボランティアと協力し、親子遊びコーナーを運営。	保育に関する相談やニーズの把握、一時預かり		
経済局	3月19日	片柳コミセン、西部文化センター、東大宮コミセンにおける避難所開設にかかる物資搬送	毛布1,800枚、アルファ米108箱、ブルーシート65枚等を3ヶ所に配送		経済局職員13名が従事
経済局	3月29日(火)	片柳コミセンにおける受入避難者増加に伴う物資搬送・食事手配	・ランチプレート・お椀 各200ずつを岩槻学校給食センターから配送 ・弁当業者の手配	行財政改革推進本部からの要請	経済局職員2名が従事
経済局	3月29日(火)	片柳コミセンにおける受入避難者増加に伴う物資搬送	毛布300枚	防災課からの要請	経済局職員3名が従事

局	支援期間	支援概要	支援内容	支援理由・要請	特記事項
経済局	4月2日(土)	西部文化センター及び東大宮コミセン等に搬入した物資の回収	毛布1,000枚、アルファ米60箱等	防災課からの要請	経済局職員7名が従事
都市局	未定	被災地から避難されてきた方々のための一部都市公園への駐車受け入れ	大和田公園・駒場運動公園・与野中央公園における駐車許可	避難されてきた方々からの要望があったため	今後は同様の事例が見込まれる
教育委員会事務局	3月15日～3月18日	館岩少年自然の家にて所内委託会社が炊き出し	米の提供を受け炊飯	南会津町からの要請	

平成23年東日本大震災に係るさいたま市の受入れについて

(平成23年4月6日17時現在)

さいたまスーパーアリーナ【開設期間3月16日(水)～31日(木)】

職員数 296名

局	支援期間	支援概要	支援内容	特記事項
行財政改革推進本部	3月16日(水)～31日(木)	埼玉県が一時避難所として開設したさいたまスーパーアリーナへの市職員の応援派遣	総合案内	・16日間で職員174名が従事
保健福祉局			健康管理、こころのケア、食品衛生に関する指導(物資搬入を含む)	・16日間で職員職52名が従事
各区役所健康福祉部	3月19日～26日		福祉相談	・6日間で職員16名、さいたま市社会福祉事業団職員28名が従事
子ども未来局	3月19日～30日		保育相談、一時預かり、親子遊びコーナー	・12日間で職員33名が従事
教育委員会事務局			就学相談	・12日間で職員21名が従事

片柳コミュニティーセンター【開設期間3月20日(日)～】

職員数 169名

局	支援期間	支援概要	支援内容	特記事項
総務局	4月1日～	市職員による避難所運営	避難所運営総括	・職員6名が従事(4月1日より1名常駐)
市民・スポーツ文化局、各区役所	3月20日(日)～		避難所運営	・3月20日～31日で職員66名が従事 ・4月1日～6日で職員30名が従事
保健福祉局			被災者の健康管理・衛生指導、福祉相談等	・3月20日～31日で職員29名が従事 ・4月1日～6日で職員14名が従事
子ども未来局			保育相談、一時預かり等	・派遣準備体制を維持
経済局	3月19日、29日	片柳コミセン等における避難所開設・運営にかかる物資搬送及び食事手配	・毛布1,100枚、アルファ米48箱、ブルーシート45枚等を配送 ・ランチプレート・お椀 各200ずつを岩槻学校給食センターから配送 ・弁当業者の手配	・職員18名が従事
建設局	4月4日	市職員による避難所運営	住宅相談	・職員2名が従事
教育委員会事務局	3月21日 4月4日	市職員による避難所運営	・片柳小学校から食器300セット貸し出し ・就学相談	・片柳小学校長他1名が対応 ・職員2名が従事